

平成26年

3月： FE国際本部正式事務局及び正式エンゲージメント委員の公募締め切り。

5月： SRA (Strategic research agenda: フューチャー・アースとして取り組むべき優先課題) 選定準備ワークショップを京都にて開催。

→ 500ほどのテーマ(案)が「貧困・飢餓」「ジェンダー」「都市化」「持続可能性」「希望・自由」「多様性」といった観点から議論された。6月の合同委員会での議論と合わせ、最終的な選定会議が行われ、10月発表予定。

6月(予定)： 北京にて科学委員会と暫定エンゲージメント委員会を合同開催。

6月(予定)： 正式事務局及び正式エンゲージメント委員決定。

7月(予定)： 正式事務局長公募開始。年内に正式事務局長決定。

→ 国際本部事務局等の選定結果を踏まえ、フューチャー・アースへの取組方針の共有や、ステークホルダーを含む国内関係者の連携を図る目的で、文科省を中心として、国内委員会の設置に向けた検討を開始する。

10月(予定)： SRA発表

平成27年

1月(予定)： 暫定事務局からの引継ぎを完了し、正式事務局が始動。

【参考】

「フューチャー・アース」構想に関する我が国における取組状況

文部科学省

- 「持続可能な地球環境研究に関する検討作業部会」にて「フューチャー・アース」構想（FE）への文部科学省の取組方策を検討し、平成25年8月に中間とりまとめ（論点整理）を実施。
- これを受け、ステークホルダーとの協働とネットワーク形成を見据えたステークホルダー間の連携推進の場として、学术界のみならず、産業界や国際援助機関、市民団体等の代表者を集めた検討ワークショップを科学技術振興機構 社会技術研究開発センター（RISTEX）と共に 平成25年10月、12月に開催。
- 『「フューチャー・アース」構想の推進』として、平成26年度予算として1億円を計上。トランスディシプリナリー研究推進に向け、「多国間国際共同研究」や「ステークホルダーとの協働によるネットワーク型研究可能性調査」を実施予定。

日本学術会議

- FE公開フォーラムを開催。（平成25年6月）
- 「フューチャー・アースの推進に関する委員会」を設置。（平成25年7月）
- 国内関係機関と共同してFE国際事務局誘致に応募。（平成26年3月）